



2023年8月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ク オ ル テ ッ ク
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 口 友 宏
(コード番号：9165 東証グロース市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 池 田 康 稔
(TEL. 072-226-7175)

2023年6月期 決算説明会動画配信およびQ&A掲載のお知らせ

当社は、2023年6月期の決算説明会動画、および決算に関するQ&Aを掲載いたしましたので、お知らせいたします。なお、Q&Aにつきましてはご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

1. 2023年6月期 決算説明会動画 URL : <https://webcast.net-ir.ne.jp/91652308/index.html>
2. 2023年6月期 決算説明会 Q&A

Q：2023年6月期の販売先構成の説明がありましたが、業種別ではどのような構成になりますか？

A：現状、業種別には車載分野60%、産業分野30%、その他分野10%の構成になっています。最近では、大手自動車メーカーの視察団が名古屋品質技術センターにご来社されるなどの動きもあり、車載分野の構成比率は今後、伸長すると考えています。

Q：信頼性評価事業の業界におけるシェアを教えてください。

A：信頼性評価事業のターゲット市場における外注市場（SAM）のシェアは13%程度と分析しています。このうち、パワー半導体分野では22%程度と分析しています。

Q：ターゲットとする市場の成長性について説明いただいたが、それを踏まえて今後の売上、利益の目標、あるいは目指す水準などあれば教えてください。

A：近い将来、売上高50億円以上、営業利益8億円以上を目指す考えです。

Q：株主還元の考え方について教えてください。

A：2024年6月期の配当予想は決算短信に記載のとおりです。今後も安定的に株主様への還元を行っていく考えです。

Q：大株主の方々との関係を教えてください。創業者は完全に引退されているのでしょうか。CBC株式会社は代理店の位置付けでしょうか。

A：創業者は完全に引退しておりますが、安定株主として当社株式を保有しています。CBC株式会社は当社のその他事業部におけるバイオ事業でビジネスパートナーとして協業関係にあります。

Q：ポジショニングマップの競合他社がそれぞれどこか教えてください。

A：独立系では JAPAN TESTING LABORATORIES 株式会社、株式会社デンケンが考えられます。その他、子会社系を含めると 15 社程度の競合があると認識しています。

Q：自動車向けの拡大余地が大きいとのことですが、完成車メーカーにおけるシェアと競合の存在がどのような状況で、どのような手順で拡大をはかるのでしょうか。ティア 1 レベルでの営業活動になるのでしょうか。

A：完成車メーカー側での当社のシェアや競合の存在については把握しておりません。今後、ティア 1 だけでなく完成車メーカーへの直販活動も行って参ります。

Q：今期の微細加工事業の営業利益率は大幅な上昇を予想していますが、その理由についてと今後も 50%程度の利益率を期待できるのか？

A：近年、微細加工事業の売上は低迷していましたが、ピーク時の売上からすると 10 億円規模のキャパシティがあります。今後、既存顧客の量産品の生産回復、バイオセンサー向け加工等が売上増加に寄与すれば、固定比率が高いビジネスであることから大幅に利益が改善されると見込まれます。

Q：業界初の上場で競争優位とのことだが、差別化はサービスメニューの多さなのか？試験の難易度や試験結果のアウトプットの質などによる差別化は難しかったのでしょうか。

A：サービスメニューが豊富にあることも差別化のひとつですが、当社の強みは顧客のお困りごとを解決するためのソリューション力であり、それが評価されてここまで拡大しました。また、近年増加する高難度試験にも対応し、信頼を得るとともに売上の増加にもつながっており、他社との差別化を図れているものと考えています。

以上